

大会名 Competition	第38回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-109	Year Month Day Time 2025 年 5 月 5 日 12 : 40
場所 Place	能代市ニツ井町総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB	
東	山	開志国際	
92	○	86	●
25 1st 15 25 2nd 26 15 3rd 22 27 4th 23 0 T			

主審:Crew chief  
小野 裕樹 青森  
副審:Umpire  
田中 直幸 秋田  
佐々木 飛翔 秋田  
テーブル・オフィシャル:Table officials  
秋田県バスケットボール協会T0委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	藪 元太郎		8	2	1	0	1	4	×	北村 優太	cap	8	2	1	0	4
5	×	佐藤 凧	cap	17	1	6	2	2	5	×	中塚 遼人		3	1	0	0	1
6		横尾 理		-	-	-	-	0	6	×	磯部 大悟		16	0	7	2	4
7	×	新井 伸之助		9	3	0	0	4	7	×	小泉 俊介		9	3	0	0	1
8	×	中村 颯斗		18	0	8	2	1	8		北本 慶志		-	-	-	-	0
9	×	ウヰトゥ ブワジャ エノック		33	0	16	1	3	9		イツグ ヲツツクキホトウ		-	-	-	-	0
10	/	鈴木 勇功		0	0	0	0	2	10	/	キング 太		14	2	3	2	1
11	/	湯川 真央		0	0	0	0	0	11	/	池田 楓真		5	1	1	0	0
12	/	川口 律		0	0	0	0	1	12	/	早野 剛		10	0	2	6	1
13		佐藤 蒼憺		-	-	-	-	0	13		北村 拓己		-	-	-	-	0
14	/	佐藤 久遠		7	2	0	1	1	14	×	ホーキンス 然		18	1	4	7	1
15		千葉 颯太		-	-	-	-	0	15		山本 権真		-	-	-	-	0
									16		岩朝 ローマ		-	-	-	-	0
									17		ジョンス 堅太		-	-	-	-	0
									18	/	大瀧 稜真		3	0	1	1	3
コーチ		大澤 徹也						0	コーチ		富樫 英樹						0
Aコーチ		山崎 健太郎						0	Aコーチ		津野 祐樹						0
		合計		92	8	31	6	15			合計		86	10	19	18	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking[Team]

1	33	35.87%	ウヰトゥ ブワジャ エノック
2	18	19.57%	中村 颯斗
3	17	18.48%	佐藤 凧

1	18	20.93%	ホーキンス 然
2	16	18.60%	磯部 大悟
3	14	16.28%	キング 太

#### Score ranking[Game]

1	33	ウヰトゥ ブワジャ エノック	東	山	2	18	中村 颯斗	東	山	2	18	ホーキンス 然	開志国際
---	----	----------------	---	---	---	----	-------	---	---	---	----	---------	------

ここまで全勝の東山と1敗の開志国際、初優勝が5連覇か、勝った方が優勝の一戦となった。  
1Q、両チーム得意の形でシュートまでいくが、開志国際はリングに嫌われる厳しい展開が続く。始まって3分半、開志国際が#7小泉の3Pで得点するまでに東山は9得点と序盤を優位に進める。東山は#4藪の3Pなどで加点し25-15の10点リードでこのQを終える。  
2Q序盤は逆に開志国際が早い展開でペースを掴む。#7小泉の2本の3Pなどで差を詰め、残り5:11、#6磯部のシュートで遂に34-34の同点とする。この後、東山は#8中村が2回のバスケットカウントを奪う3連続ドライブで8得点し、突き放しに成功。前半を50-41で終える。  
3Q、開志国際はドライブや積極的なオフェンスリバウンドへの飛び込みで東山インサイド陣のスタミナを奪い、少しずつ差を詰めていく。#14ホーキンスが速攻やゴール下でシュートを決め、このQ終了時で65-63と2点差まで追いつく。  
4Qは一進一退の展開が続く。開志国際は速攻で、東山は#9エノックで得点を重ねる。開志国際は#4北村が3Pやフローターで加点するが、東山も#14佐藤久遠の3Pなどが決まり、シーソーゲームが続く。82-82から東山#5佐藤凧が3P、アシストパスから#9エノックの得点をお膳立てするなどの活躍を見せて勝負あり。92-86で東山が能代カップ初優勝を決めた。